

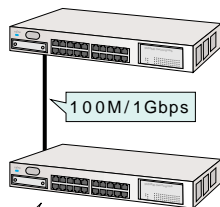
# SHシリーズの特長

## 1. スタック接続による高い拡張性

対応機種 SH-S3540

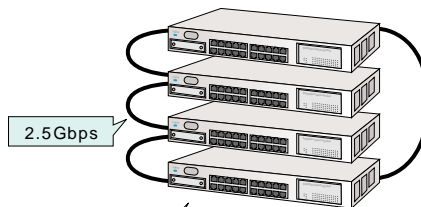
1台のハブではポート数が足りない場合、通常はハブ同士のカスケードにより接続を行います。SH-S3540では、最大8段までのスタック接続が可能です。これにより、最大で224ポートの1台のハブとして管理 / 運用を行うことができます。さらに、スタック接続のバス速度は超高速の2.5Gbps。多段接続時のパフォーマンス減少を最小限にした処理能力もあわせて利用できます。広いオフィスなど、ハブのポート数が不足する場合や、段階的にクライアント数が増加する場合など、柔軟なポートの増設を行う場合に最適です。

### カスケードによる増設



接続する速度は100M / 1Gbps。装置の管理 / 設定などの作業は各スイッチごとに必要。

### スタックによる増設



スタックバスの速度は2.5Gbps。装置の管理 / 設定などの作業は1台のスイッチとして行える。

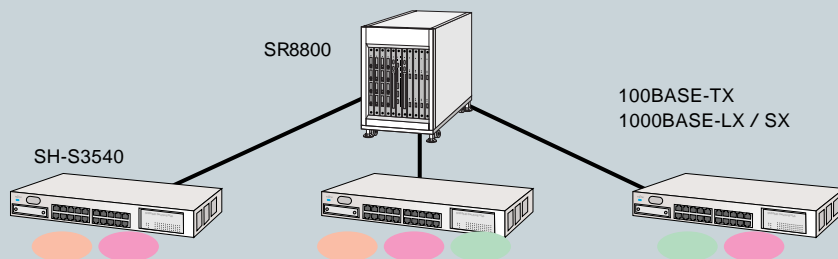
## 2. タグVLAN(装置間VLAN)による柔軟なネットワーク構築

対応機種 SH-S3540

SH3440

VLAN(バーチャルLAN)とは、スイッチングハブのポートをグルーピング化し、擬似的にグループごとに閉じたネットワークを構成する機能です。SH-S3540 / SH3440は、装置をまたがってVLANを構成することができるタグVLAN機能をサポート。物理的な配線と独立してネットワーク設計が可能であるため、フロア間をまたいでのVLAN構築や、頻繁な組織変更によるネットワーク構成の変更にも設定のみで容易に対応することができます。

### 複数のスイッチングハブを連携したVLANの構築が可能



装置をまたがるVLANをポート毎に定義。物理的な配線と独立したネットワーク設計が可能。

● VLAN  
● VLAN  
● VLAN

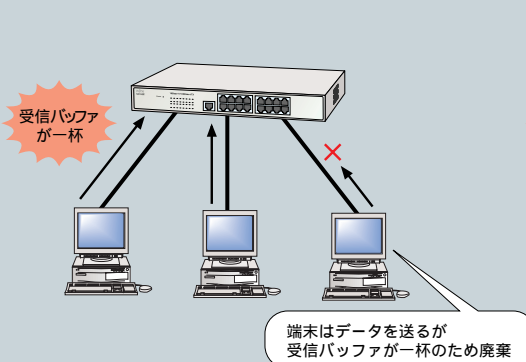
スイッチングハブ

## 3. フロー制御機能

対応機種：SHシリーズ全機種( SH1610Fを除く )

ひとつのポートに過度のトラフィックが集中するとパケット廃棄が発生してしまいます。フロー制御は、このような場合に端末にフレームの送信を制御させ、パケット廃棄を回避する機能です。SH1000シリーズ( SH1610Fを除く )は全二重通信時のみならずバックプレッシャ方式により半二重通信時のフロー制御機能もサポートし、データ通信の高い信頼性を提供します。

### フロー制御を行わない場合



### フロー制御を行った場合

